

部 報 第 1 3 8 号

(公財)全国高体連卓球専門部

【平成27年度 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部第2回理事会 議事録】

日 時 平成28年3月25日(金) 9:00~11:30
会 場 郡山総合体育館大会議室
出席者 小坂信彦 安西弥一郎 堀内安宏 宮澤和彦 武田和久 藤井 祐
藤崎武司 千村正純 田中正一 下川和男 島富義之 藤井 健
河野正和 谷口史子 加藤慎一 塚田博文 川村光男 丸山茂樹
鈴木淳子 塩見卓生 (以上20名)

- 1 あいさつ (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部副部長 小坂 信彦
2 協議事項 丸山 事務局員
第1号議案 平成27年度決算 について

(資料説明)

収入の部

ア、日本卓球協会還元金は約1,383万円。

イ、選抜大会の受取負担金は日本卓球協会補助金50万円、ミニミニ45万円(ポスター費用等含む)。

ウ、各種競技普及の日卓協登録還元金配分が減額になった(予算額に満たなかった)。

エ、各種国際交流事業・・・雑収入額が増えたのは、選手から海外遠征参加費を計上したため。

支出の部

ア、インターハイ、選抜大会の印刷製本費を各種競技普及事業に回した。

イ、各種強化事業の春季合宿は今後の支出。

ウ、各種国際交流事業・・・海外遠征助成額が増えたのは、選手から海外遠征参加費を計上したため。

承認

第2号議案 平成28年度事業計画 について

〔1〕平成28年度全国高校総体(岡山県・総社市)について

実行委員会より

加藤 理事

実施要項(資料説明)

ア、平成28年7月31日(日)~8月5日(金)総社市スポーツセンター体育館(きびじアリーナ)

イ、開会式は7月31日(日)16:30~、閉会式は8月5日(金)12:00頃からの予定。

ウ、諸会議は7月31日(日) 8:30~全国理事会 12:30~全国評議員会 14:30~監督会議

エ、開会式は選手のみが入場行進を行う。アトラクションの内容は、現在検討中。

オ、プロ編の日程は、7月7日(木)~9日(土)総社市役所で開催。

カ、審判は、地元高校生が中心に行う。現在高校生125名、岡山大学卓球部29名が資格を取得し、準備中。準々決勝以降は、一般社会人が行う。審判は、事前の審判技術の向上を計画的に行う。

キ、仮設エアコンを入れる。

ク、競技は28台で行う。団体戦は、毎年終了時間が遅くなるので、今年度は、3回戦から2台展開で行う。決勝は、1台進行とする。

承認

連続・通算表彰関係について

川村 事務局員

ア、表彰対象校は、別表の通り。

イ、連続表彰候補が9校。通算表彰候補が11校あり、例年よりかなり増えている。

承認

大会役員・競技役員編成について

安西 理事長

ア、大会役員・競技役員は、別表の通り。

承認

〔2〕平成28年度 第44回全国高校選抜大会(大阪市)について

谷口 理事

実施要項(資料説明)

ア、平成29年3月25日(土)~28日(火)大阪市中央体育館

- イ、開会式は25日(土)16:30～、閉会式は28日(火)競技終了後。
ウ、すべての競技・会議を大阪市中央体育館で実施する。
エ、メインフロアで全試合を行う予定。
承認

第3号議案 平成28年度予算について

丸山 事務局員

(資料説明)

収入の部

- ア、日本卓球協会還元金収入は1,355万円。
イ、インターハイ・・・受取本部補助金という項目は全国高体連から指示された表記。
ウ、選抜大会・・・受取協賛金という表記に変更。協賛金は日本卓球協会とミニミニで95万円。
エ、各種強化事業・・・受取金・補助金等の金額を減額。

支出の部

- ア、インターハイ、選抜大会の印刷製本費を各種競技普及事業に回した。
イ、インターハイ開催助成・・・全国高体連から25万円、専門部から50万円。
ウ、選抜大会開催助成・・・全国高体連から50万円、専門部から100万円、ミニミニから20万円。
エ、各種国際交流事業・・・海外遠征助成額が増えたのは、選手から海外遠征負担金を計上したため。
オ、日本卓球協会還元金の一部を、来年度から32年夏まで積み立てる。全国高体連の指導により、積立金を別会計にするのは難しい。

承認

第4号議案 委員会・事務局提案承認の件

〔1〕平成28年度強化委員会事業計画(案)

河野 強化委員長

(資料説明)

- ア、合宿で、ベンチコーチを認めたら引率者が増加した。今後も継続したい。
イ、今年と同じようにタイ遠征・ベトナム遠征を行いたい。現在調整中。

承認

平成27年度全国高校選抜春季合宿(案)

河野 強化委員長

実施要項(資料説明)

- ア、平成28年3月28日(月)～31日(木)郡山総合体育館
イ、参加選手は、男女各32名に増やした。同一校からの参加人数は3名以内とした。

承認

平成28年度全国高校選抜新人合宿(案)

河野 強化委員長

- ア、平成28年11月25日(金)～27日(日)スカイホール豊田。
イ、参加選手は、各都道府県推薦選手47名、愛知県推薦選手各1名。

承認

平成28年度日学連・高体連合同合宿(案)

河野 強化委員長

実施要項(資料説明)

- ア、平成28年4月8日(金)～10日(日) ナショナルトレーニングセンター。
イ、日学連男女8名、高体連男女8名。

承認

〔2〕規約・規定の改訂

武田 副理事長

- ア、競技時間の短縮、経費の削減から、次のように改訂する。
大会運営規定〔1〕競技方法 第1条全国総体の競技方法は、次の通りとする。
(1)全試合、11本5ゲームスマッチのトーナメント方式とする。
評議委員会にかけ、郡山インターハイから実施する。
イ、全国選抜大会通過枠算定基準を規約規定集に載せる。
大会開催基準規定(出場数)第4条大会規模(参加数)の後に追加 (別紙参照)
ウ、前年度1・2位校が出場しない場合、補欠校の推薦について検討する。

承認

〔 3 〕平成 29 年度全国大会出場枠（案）

川村 事務局員

（資料説明）

ア、全国選抜大会通過数改正案。

イ、平成29年度インターハイ参加定数。平成27年度8月加盟数と1月31日現在の資料を参考。
承認

3 報告事項

〔 1 〕（公財）全国高体連関係

安西 理事長

（資料説明）

ア、参加校統一について...3年間加盟登録200校以上ある場合県は統一基準を適用する。（平成31年南九州インターハイから）。

イ、32年問題...19競技が開催地未定。専門部では2箇所打診している。

ウ、特別基金、経費削減、個人戦参加数調査...全国高体連で基準を検討。

エ、インターハイ経費削減シーリング目標...2900万円以内で開催の方向で検討している。

オ、マイナンバー導入...指導者講習会等の謝金など税金の処理をする。

カ、体罰根絶...日本体育協会との情報共有を図る。

キ、インターハイ特別基金導入のお願い...各都道府県委員長に連絡済み。各都道府県高体連事務局と協議して行って欲しい。

〔 2 〕（公財）日本卓球協会関係

小坂 副部長

ア、国際卓球連盟ルール改定（(5) I T T F ルール変更についてのア、参照）に伴う日本卓球ルールの改定は、弊害がいくつか考えられるので、いったん保留とする。

〔 3 〕全国開催予定一覧

川村 事務局員

ア、資料の通り。今後各種大会開催が可能な県は、申し出をお願いしたい。

〔 4 〕各ブロック大会予定一覧について

川村 事務局員

ア、資料の通り。

〔 5 〕 I T T F ルール変更について

宮澤 副理事長

（資料説明）

ア、2016年10/1～の I T T F ルール変更 アドバイスに関するペナルティー...ラリー中及び練習時間終了時とマッチ開始の間を除き、いつでもアドバイスを受けることが出来る。

イ、上記変更について、日本卓球ルールへの採用について、5月の（公財）日本卓球協会理事会で方向性を受けて専門部で検討する。

〔 6 〕その他

安西 理事長

（資料説明）

ア、事務局員として鈴木先生を紹介。

イ、日本卓球協会役員改選 高体連からは下記メンバーを選出。

理事 安西理事長

評議員 蓑島事務局長

代表 宮澤副理事長

ウ、高体連も、8月で役員改選。

イ、今年の8月で、年報が30回発行となる。今後について、年報編集委員会で検討していく。